

平成28年度 学校自己評価システムシート（学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校）

目指す学校像	本学建学の精神「人間是宝」の理想を具現化した教育の実践。
--------	------------------------------

重点目標	1. 本校教育の基本方針に基づき、計画的且つ円滑な教務・校務業務の遂行。 2. 本校のグランドデザイン『サイエンス&ランゲージ』の具現化に向けての取り組み。 3. 学校と家庭との連携「共育」を軸に、信頼関係を保つ学校運営。
------	---

達成度	A	ほぼ達成
	B	概ね達成
	C	変化の兆し
	D	不十分

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	教務・進路入試センターの分掌（担当）において業務が進められているが、学校運営の根幹を担っている上記分掌が効率的に行われているかを確認。また、その他の分掌・係との連携によって、学校運営が円滑に行われているかを確認。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	より良い円滑な業務遂行のために、次年度は業務の指示系統・各書類の流れを一元化し迅速且つ漏れの無いようにしたい。『進路入試センター』と教務との連携のとれた業務の遂行。
2	教科会・特色教育・複合型教育・課外活動・研修・児童会等の各分掌において、グランドデザインを念頭に置きながら、教育目標の実践と学習指導と生活指導の一体化を推進することを通して、子どもの内在する可能性を拓く。新学習指導要領の完全実施に伴う適切な取り組み。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。 また、年に2回の保護者との個人面談での意見や、授業参観日に行なわれるアンケートを参考としてこれまでの各業務の現状を修正。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	グランドデザインの具現化のための具体的な教育実践を多く取り入れる。そごう的な学習の時間の整備、英語科の習熟度別授業・体験学習など教える側(教師)に立つ学習の展開ではなく、学習の主体である子どもの側に立つ学習を推進する。 新学習指導要領に対応した教育課程・『学習の手引き』の検討・作成。
3	保護者に対する様々な情報の発信、保護者の参加する学校行事、保護者会活動の充実。 学園後援会活動に際して、保護者・教職員により一層の積極的な活動参加により信頼を保った学校運営を行う。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	保護者会活動については、事前に年間計画を立て、多くの保護者が主体的に開かれた活動に参加出来るようにする。
その他	本校に於いては、上記の重点目標のほかに施設設備・備品管理・視聴覚機器・情報機器・環境美化・防災教育・学校保健・事務(経理・庶務)などの校務分掌にて独自に目標を設定し、各学期末に業務報告を行い、次学期・次年度への課題・改善策を講じている。					

学校関係者評価
実施日 平成29年5月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等
進路入試センターから分掌される学校運営は、大半は円滑に行われていると思われるが、そこから更に業務を細分化し、例えば児童一人ひとりに伝わっているかを確認できるとよいと思う。
グランドデザインの具現化のための取り組みは、新たな事案へのチャレンジが見られる。しかしながら、学年毎、若しくは個人の理解度は様々で、主体である子ども一人ひとりを個と捉えて評価すると考えると格差を感じる。
保護者会活動については大半の保護者の協力は得ていると思う。但し、私学である以上保護者会としての更なる統一した目的意識をもっと持っていたきたいと感じることも多くある。
学園本部からの予算だけでなく、小学校独自の予算を持つ必要がある。各校の生徒数や独自の設備があるので系列校としての予算だけではなく、個別の予算等が必要である。